

5.1.4 Global Café

- ・生徒主催型 Global Café は生徒自ら企画書を作成して運営しており、課題研究の幅を広げたり、海外研修等への意欲をかき立てたりする機会となっている。また Global Café 参加生徒の中に、今後は参加するだけでなく主催してみたいという意識の変化が見られた。
- ・外部講師で専門家に来ていただくことで、課題意識を広めるとともに深めることも出来た。
- ・他の委員会と連携し、海外校が本校へ訪問した際の交流の場としても Global Café が機能するようになった。生徒によるワークショップや講演、グローバルな問題をテーマに議論をするなどといった交流を継続しておこなった。

(1) 目的

海外研修や留学・課題研究成果の発信の場(生徒主催型)、及び課題研究の支援(外部講師依頼型)として、継続的に Global Café を開催している。また、他校の高校生と Skype で連携して開催したり、ともにディスカッションしたりなど、交流の場としても利用される。交流委員会による留学や研修に関する発信の場としても活用している。本校生徒の研究成果発信や交流の重要な機会として活用するとともに外部機関との連携による課題研究の活性化を目的としている。

(2) 実施概要

今年度も生徒主催型と外部講師依頼型の2つを中心に運営してきた。今年度特筆すべきは、国内の他県の高校生と、本校有志のメンバーの交流の場としても Global Café が機能した点である。第3回、第7回は外部講師を依頼し、課題研究の深化や、海外研修の様々な事前準備の場となった。第1回、第2回、第4回～第6回、第8回は生徒主催型であり、上級生から下級生へ自身の経験をバトンとして渡す好機となった。



第1回 Global Café 『2018年度フィリピン研修報告会』

- ・開催日時 2019年5月14日 16:15～17:15
- ・会場 本校 総合メディアセンター
- ・テーマ SGH フィリピン研修 2018
- ・企画・運営 5年生7名(男子2名 女子5名)
6年生5名(男子1名、女子4名)
- ・参加生徒数 23名
- ・内容 2018年度の2月に実施された、本校 SGH フィリピン研修の事後研修の一つとなる。訪問先での交流内容や事前学習を含む研修全体を通しての気づきや学び、自分たちの研究に活かしたことなどについて報告を行う。

・参加生徒の感想

※ゴミ山について先輩から「行く前に自分が考えていた実態をきちんと書いておけばよかった」という反省があり、失敗を繰り返さない心構えができた。

※自分が受けている教育を基盤に考えないように気をつけ、日本以外の事も考え研究するよう視野を広げられた。

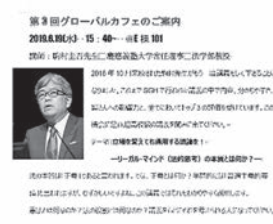
第2回 Global Café 『2018年度 香港研修報告会』

- ・開催日時 2019年6月14日 16:15～17:15

- ・会 場 本校 総合メディアセンター
- ・テーマ SGH 香港研修 2018
- ・企画・運営 5 年生 2 名 (女子 2 名)
6 年生 9 名 (男子 1 名 女子 8 名)
- ・参加生徒数 26 名
- ・内容
2018 年度の 2 月に実施された、本校 SGH 香港研修の事後研修の一つとなる。訪問先での交流内容や、事前学習を含む研修全体を通しての気づきや学び、自分たちの研究に活かした内容などについて報告を行う。
- ・参加生徒の感想
※研修参加を目指すために具体的な説明が多くイメージが湧きやすかった。自分達の研究にあった内容を選ぶ事ができると分かり、より興味が増した。研修先をイメージしたり、疑似体験したりでき、自分事に捉えられるきっかけとなった。
※夏休み、海外の孤児院で日本文化を教える予定で、事前準備について参考になった。訪問国の文化を知らないのは失礼だと思うので私も行く前に文化を学ぼうと思った。

第 3 回 Global Café 外部講師講話

- ・開催日時 2018 年 6 月 19 日 15:40～17:00
- ・会 場 本校 E 棟 201
- ・講 師 慶応義塾大学常任理事 法学部教授 駒村圭吾教授
- ・テーマ 立場を変えても通用する議論を！
「リーガルマインド（法的思考）の本質とは何か？」
- ・企画・運営 SGH 委員会
- ・参加生徒数 本校生徒 23 名
- ・内容



これまでの SGH 事業を振り返り、参加生徒に多大な影響を及ぼした講師の再訪を依頼した。法的思考の根本を学び、実際の事件を題材にした分かり易い講義を受け SGH 事業の醍醐味である批判的思考の学びの場となった。

- ・参加生徒の感想
※ある議員の「生産性発言」について、「子供を産むべきというのは right なのか good なのか」「女性が今社会でどのようにふるまっているのか」という事を考えるとなるほどこれは確かにひどい発言だ、と納得することができた。世の中には色々な考え方があるが、それらが right とされるものなのか、good とされるものなのか冷静に考えることで、理の在る言い分なのか個人の価値観なのかを見極めることができるのだと分かった。

第 4 回 Global Café 『ガチリン：原子力発電について』

- ・開催日時 2019 年 7 月 12 日 15:40～16:40
- ・会 場 本校 E 棟 201 教室
- ・テーマ 原子力発電について Skype によるディスカッション
- ・企画・運営 5 年生 3 名 (男子 1 名 女子 2 名)
4 年生 1 名 (女子 1 名)



- ・参加生徒数 福島県立福島高等学校 数名
本校生徒 4名

- ・内容

本校の高校生が福島の高中生と原子力発電について Skype ディスカッションを行なった。原発について課題研究をしている生徒だけでなく、興味を持った後期課程の生徒が複数名参加していた。表題にある「ガチリン」は福島県立福島高等学校の生徒さんの取り組み。福島高等学校が実施されているリベラル・ゼミ講義（本校で言うところの Global Cafe や課題研究支援セミナー）をきっかけに、生徒が自主的にテーマを掲げ、ワークショップなどの企画運営を主導する「リベラルゼミ・ダイアログ」という活動が始動された。その「リベラルゼミ・ダイアログ」の活動の中で、東京電力福島原発事故についての「国会事故調報告書」を輪読することから開始されたものが「ガチ輪読会」で、略してガチリンと称されている。

第5回 Global Café 『留学・研修参加者体験講話』

- ・開催日時 2019年10月2日 15:50～17:00
- ・会場 本校 総合メディアセンター
- ・テーマ 留学・研修の報告会
- ・参加生徒数 4年生3名

- ・内容

ニュージーランド短期留学、ひろしまジュニア国際フォーラム、Kamenori School 2019 に参加した生徒がそれぞれの研修・留学内容と、それから学んだことをプレゼンテーションした。生徒や学年の教員が話を聞き、どのような場所でどのようなことを学んだかがわかりやすく説明された。

- ・研修参加者のコメント

「あっという間の4週間だった。学校では、NZをはじめとした様々な国籍の人と交流し、その国の日常を知ることができた。他国から来た留学生たちと自分の国の早口言葉を教え合い、盛り上がったことは良い思い出だ。ホストファミリーには休日ごとにNZの自然を体験できる場所に連れて行ってもらった。いつか必ず、今回お世話になった人たちと再会したい。」（ニュージーランド）

「このフォーラムに参加して一番よかったと思うのは、今までは自分の立場からしか考えることができなかったことがたったの4日で幅広い視点から様々な情報を得ることができたことでした。そんな中、一つわかったことは、平和には答えがなく、『永遠の課題である』ということでした。」（ヒロシマ）

「大きく成長できたことはコミュニケーション能力だ。今回の活動は日本語が第二言語である外国人留学生に日本語で伝えることが必要であり、とても難しかったが、いかに分かりやすく伝えるかを考え、行動することができた。最も分かりやすさを意識したのは、3日目の発表準備の時だ。この日の活動では、日本人の生徒と留学生が混じってそれぞれのグループに与えられた発表テーマについて話合ったのだが、グループ全員がしっかり理解したうえで進める必要があった」（かめのり）



第6回 Global Café 『インクルーシブ教育ワークショップ』

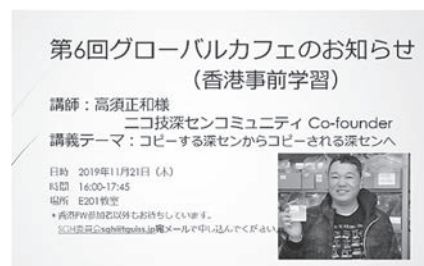
- ・開催日時 2019年10月18日 15:30～16:40

- ・会 場 本校 総合メディアセンター
- ・テーマ インクルーシブ教育について考えよう
- ・企画・運営 5年生3名（女子3名）
- ・参加生徒数 9名
- ・内容

「障害のある人と関わったことがありますか？」という身近な話で生徒が話し合った後、障害に関する基本的な説明、インクルーシブ教育についての背景知識を学ぶ。その後、知的障害を持った生徒に関する教育の場の選択肢のメリットやデメリットをディスカッションし、ポストイットで書き出し、共有した。最後にアンケート調査に回答した。

第7回 Global Café 外部講師講話（香港深圳研修事前学習を兼ねる）

- ・開催日時 2018年11月21日 15:40～17:00
- ・会 場 本校 E棟 201
- ・講 師 ニコ技深圳コミュニティ Co-founder
高須正和氏
- ・テーマ コピーする深圳からコピーされる深圳へ
- ・企画・運営 SGH 委員会
- ・参加生徒数 12名
- ・内容



深圳の歴史や街の成り立ち、特徴について造詣の深い講師へ質問し回答を得る形で講義を展開した。研修前に学ぶべきことへの焦点化が可能となった。

- ・参加生徒の感想

※現在深圳には様々な企業があり、若者が沢山いて、メーカーフェアでは、メーカーとユーザーの交流があり、日本より進んでいると感じた。今後の深圳の発展に注目したい。深圳の歴史的背景を知り興味深く、表面的でない情報を知る事ができた。

第8回 Global Café 『2019年度フィリピン研修報告会』

- ・開催日時 2020年2月10日
- ・会 場 本校 総合メディアセンター
- ・企画・運営 4年5名（男子2名 女子3名）
5年4名（女子4名）
- ・テーマ What we've learned What we've earned
フィリピン研修からの学び
- ・内容



1月19日（土）から1月23日（木）で実施したフィールドワークの報告、および事前研修で得た学びや気づき、課題研究との関連もふまえて、2019年度フィリピン研修の活動の全体を報告した。

(3) 成果と課題

生徒主体の Global Café は発表者の体験や活動を参加者へ発信できるだけでなく、改めて活動を振り返る機会ともなり、より深く考察することができる。さらに、Global Café に参加した生徒は、次は自分自身が Global Café を企画して発表してみたいという、課題研究や活動の発信意欲を得る効果もある。海外研修の事前学習を兼ねることにより一定の参加者数を得る事ができたが、事後のフィードバックが不十分な回も見られ、やりっ放しにならぬよう教員からの声掛けが必須である。